



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 沖電気工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6703 URL <https://www.oki.com/global/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森 孝廣
CEO
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 高橋 洋二 TEL 03-5635-8212
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 機関投資家向け

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	86,138	1.2	△1,867	—	△1,525	—	2,453	—
2026年3月期第1四半期	85,077	△13.1	△1,370	—	△1,563	—	△1,643	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △2,891百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △1,359百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	28.28	28.28
2026年3月期第1四半期	△18.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	414,919	171,884	41.4
2026年3月期	445,211	180,415	40.5

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 171,779百万円 2026年3月期 180,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	440,000	4.4	22,000	16.7	22,000	5.9	18,000	△16.3	207.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	87,217,602株	2026年3月期	87,217,602株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	471,868株	2026年3月期	471,547株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	86,745,844株	2026年3月期1Q	86,722,471株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2026年7月30日 (木) に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）の概況

日本経済は、雇用および所得環境の改善のもと、各種政策の効果により、緩やかな回復基調にあります。一方、中東情勢の影響や金融資本市場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社は、創業150周年を迎える2031年を見据え、6年間を計画期間とする「経営計画2031」をスタートしました。当社独自の知的資本を強化し、社会課題の解決に資する価値を継続的に創出できる企業体質へと変革します。その中核として「価値創造モデル」を確立し、コア事業の革新と高成長市場への挑戦を推進します。あわせて、事業セグメントの再編と戦略投資を進めるとともに、これらを支える人的投資を含む経営基盤への積極投資を行い、変革への取り組みを加速させます。

当第1四半期連結累計期間の業況は、売上高は861億円（前年同期比10億円、1.2%増加）、営業損失は19億円（同5億円悪化）、経常損失は15億円（同1億円改善）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円（41億円良化）となりました。売上高および営業利益は、ほぼ想定どおりのスタートです。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益等により、大幅な増益となりました。

単位：億円	2027年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	861	851	1.2%
営業利益	△19	△14	—
経常利益	△15	△16	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25	△16	—

事業別の外部顧客に対する売上高および営業利益は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

②事業別の状況

<パブリックソリューション>

売上高は282億円（前年同期比52億円、22.3%増加）、営業利益は11億円（同9億円、491.3%増加）となりました。ディフェンスシステム事業、ネットワークインフラ事業の伸長により増収増益となり、年間目標の達成に向けて順調に推移しています。

単位：億円	2027年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	282	230	22.3%
営業利益	11	2	491.3%

<金融ソリューション>

売上高は274億円（前年同期比41億円、12.9%減少）、営業利益は2億円（同14億円、85.5%減少）となりました。物量減少や商品構成の変化に伴う利益率の低下等はありませんでしたが、黒字を確保しました。新たな市場機会の獲得やコストダウン施策等により、成長に向けた取り組みを推進中です。

単位：億円	2027年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	274	315	△12.9%
営業利益	2	16	△85.5%

<コンポーネント&マニファクチャリング>

売上高は299億円（前年同期比7億円、2.2%増加）、営業損失は6億円（同1億円悪化）となりました。アドバンスコンポーネント事業のプリント配線板やケーブルは増収増益となり、セグメント全体では想定どおりのスタートです。CFB（Crystal Film Bonding）量産化に向けて、順調に進捗中です。

単位：億円	2027年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	299	292	2.2%
営業利益	△6	△5	—

<その他>

売上高は7億円（前年同期比7億円、47.3%減少）、営業損失は0億円（同2億円改善）となりました。

単位：億円	2027年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	7	14	△47.3%
営業利益	△0	△2	—

(2) 当四半期の財政状態の概況

①当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して303億円減少の4,149億円となりました。自己資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益を25億円計上した一方で、その他の包括利益累計額が54億円減少したことおよび普通配当を56億円実施したこと等により、前連結会計年度末に対して85億円減少の1,718億円となりました。その結果、自己資本比率は41.4%となりました。

資産では主に、受取手形、売掛金及び契約資産が381億円減少した一方で、棚卸資産が126億円増加しております。

負債では主に、支払手形及び買掛金が64億円減少しております。なお、借入金の前連結会計年度末940億円から62億円減少し、878億円となりました。

②当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が減少したことにより、134億円の収入（前年同期21億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券の売却による収入があったことにより、73億円の収入（同52億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとを合わせたフリー・キャッシュ・フローは207億円の収入（同31億円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金およびリース債務の返済による支出により、124億円の支出（同26億円の支出）となりました。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額による増加2億円により、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の358億円から444億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、全体としてはおおむね計画どおりに推移したことから、通期業績見通しにつきましては2026年5月13日公表値を据え置きといたします。今後、為替変動や市場動向等を踏まえ、期初計画値から大きな差異が生じることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動、災害等による影響などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,897	44,534
受取手形、売掛金及び契約資産	130,233	92,081
製品	17,073	21,129
仕掛品	15,342	20,515
原材料及び貯蔵品	26,541	29,969
その他	19,481	21,997
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	244,558	230,219
固定資産		
有形固定資産	56,144	56,396
無形固定資産	16,079	15,845
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	47,275	45,916
その他	81,154	66,542
投資その他の資産合計	128,429	112,458
固定資産合計	200,653	184,700
資産合計	445,211	414,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,746	54,343
短期借入金	40,787	35,143
引当金	6,930	7,671
その他	63,291	55,734
流動負債合計	171,755	152,893
固定負債		
長期借入金	53,230	52,642
引当金	1,265	942
退職給付に係る負債	19,109	19,263
その他	19,434	17,292
固定負債合計	93,040	90,142
負債合計	264,796	243,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	18,919	18,919
利益剰余金	101,069	97,884
自己株式	△663	△664
株主資本合計	163,325	160,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,629	8,862
繰延ヘッジ損益	137	115
為替換算調整勘定	△8,027	△8,147
退職給付に係る調整累計額	12,251	10,810
その他の包括利益累計額合計	16,991	11,640
新株予約権	13	13
非支配株主持分	85	91
純資産合計	180,415	171,884
負債純資産合計	445,211	414,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	85,077	86,138
売上原価	65,123	67,813
売上総利益	19,953	18,325
販売費及び一般管理費	21,324	20,192
営業損失(△)	△1,370	△1,867
営業外収益		
受取利息	268	319
受取配当金	453	474
為替差益	—	492
投資有価証券売却益	364	—
雑収入	202	221
営業外収益合計	1,289	1,508
営業外費用		
支払利息	441	489
為替差損	459	—
雑支出	581	677
営業外費用合計	1,482	1,166
経常損失(△)	△1,563	△1,525
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,142
特別利益合計	—	5,142
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,563	3,617
法人税、住民税及び事業税	△87	813
法人税等調整額	161	343
法人税等合計	74	1,157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,638	2,459
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,643	2,453

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,638	2,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	460	△3,767
繰延ヘッジ損益	△207	△22
為替換算調整勘定	189	△120
退職給付に係る調整額	△163	△1,441
その他の包括利益合計	279	△5,351
四半期包括利益	△1,359	△2,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,364	△2,897
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,563	3,617
減価償却費	3,750	3,904
引当金の増減額(△は減少)	△920	△527
受取利息及び受取配当金	△722	△793
支払利息	441	489
投資有価証券売却損益(△は益)	△364	△5,142
売上債権の増減額(△は増加)	18,643	38,900
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,677	△12,566
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,573	△7,571
その他	△3,000	△3,723
小計	3,011	16,585
利息及び配当金の受取額	482	514
利息の支払額	△191	△171
法人税等の支払額	△1,190	△3,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,111	13,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,093	△4,612
無形固定資産の取得による支出	△1,790	△1,324
投資有価証券の売却による収入	418	16,652
敷金及び保証金の差入による支出	△24	△1,204
長期前払費用の取得による支出	△614	△2,252
その他の支出	△69	△29
その他の収入	16	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,156	7,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,809	△5,809
長期借入金の返済による支出	—	△587
配当金の支払額	△3,603	△5,330
リース債務の返済による支出	△876	△626
その他	51	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,618	△12,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△139	232
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,803	8,634
現金及び現金同等物の期首残高	36,237	35,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,433	44,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パブリック ソリューション	金融ソリュ ーション	コンポーネ ント&マニ ュファクチャ リング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	23,045	31,464	29,217	83,726	1,350	85,077	—	85,077
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,129	68	1,519	2,717	3,354	6,072	△6,072	—
計	24,175	31,532	30,737	86,444	4,705	91,150	△6,072	85,077
セグメント利益 又は損失(△)	189	1,591	△518	1,262	△247	1,015	△2,385	△1,370

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、主に用役提供を行うとともに、将来事業創出に向けた活動も推進しております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,385百万円には、セグメント間取引消去△62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,336百万円及び固定資産の調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パブリック ソリューション	金融ソリュ ーション	コンポーネ ント&マニ ュファクチャ リング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	28,172	27,399	29,854	85,426	711	86,138	—	86,138
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	471	39	1,730	2,240	2,699	4,940	△4,940	—
計	28,643	27,438	31,585	87,667	3,410	91,078	△4,940	86,138
セグメント利益 又は損失(△)	1,119	230	△571	778	△11	767	△2,634	△1,867

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、主に用役提供を行うとともに、将来事業創出に向けた活動も推進しております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,634百万円には、セグメント間取引消去129百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,802百万円及び固定資産の調整額38百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、コア事業の革新と成長市場への挑戦を進めるため、3セグメント(パブリックソリューション/金融ソリューション/コンポーネント&マニユファクチャリング)に再編しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。